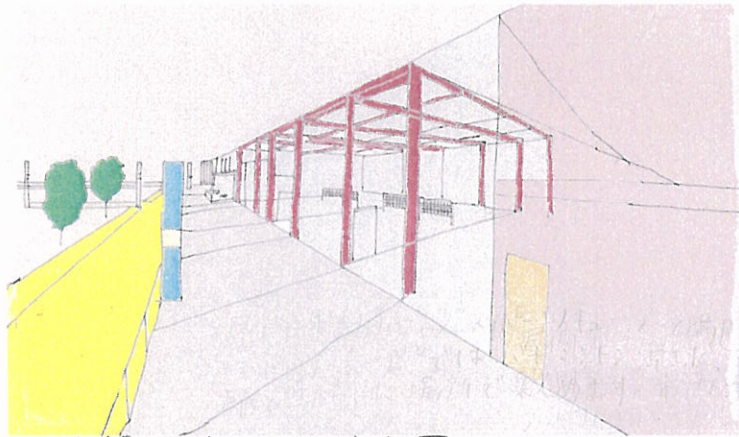


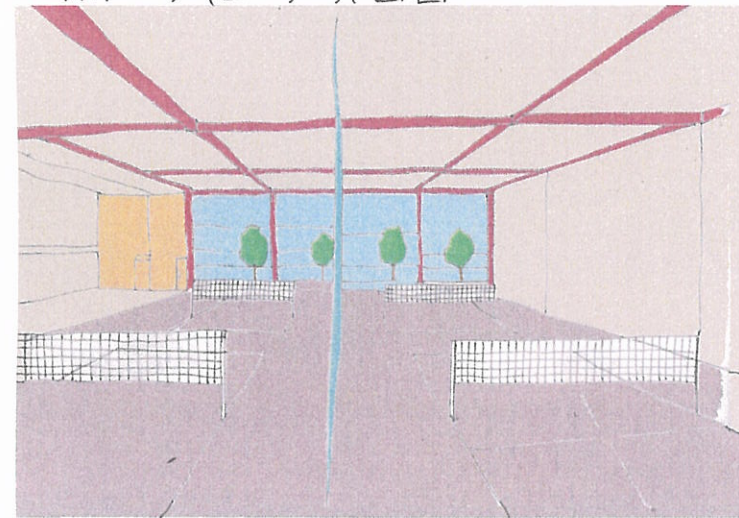
スポーツシティ、真駒内 ~2040年の真駒内~



スポーツキューブ 外面図

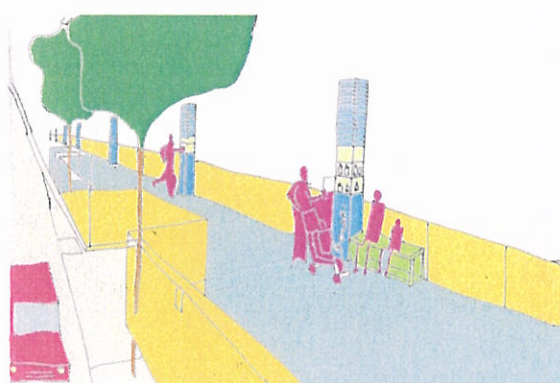
私はスポーツシティ真駒内を提案します。街全体に様々なスポーツが楽しめる施設を作ることで札幌のスポーツの聖地になります。特に屋内で楽しめるスポーツを充実させることで1年を通してスポーツ人口が変わらず維持できます。高齢化が進んだ時にも屋内スポーツは楽しめるスポーツです。

屋内運動施設「スポーツキューブ」を馬尺のホームの延長線上に設ける事を提案します。「スポーツキューブ」ではバドミントンや卓球、フットサルやバスケットボールなど室内競技が馬尺と直結した場所で楽しめます。



スポーツキューブ 内面図

私はバドミントンが好きです。ラリーが続いた後に得点できると本当に嬉しいです。そこで友達と楽しみなが、プレー出来る場所がほしいと考え「スポーツキューブ」を提案しました。みんなが楽しめる明るく活発な街になります。屋内スポーツのほとんどは年齢層関係なく楽しめます。馬尺に直通しているのでも安心です。より多くの人に屋内スポーツを楽しんでもらいたい。そして楽しむことで真駒内がスポーツの聖地として高齢化が進んだ2040年にも人が集まると考え、街づくりの提案をしました。



ランナーズパース

「スポーツキューブ」の外側には2FLに「ランナーズパース」を設けます。2FLに設けてあるので信号や自転車、歩行者と交わることなく走れます。「スポーツキューブ」で楽しむ前のウォーミングアップの場としても使えます。



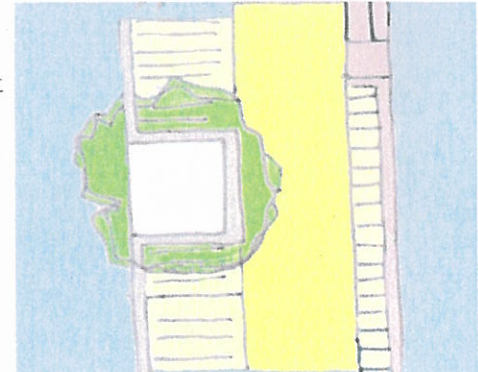
スポーツキューブ 外部図 (断面図)

「ランナーズパース」の断面図です。2FLを走ることで歩行者や自転車、信号でのトラブルを防ぐと同時に冬期は雪よけとしての機能も果たします。



オープンカフェ

「スポーツキューブ」の隣はオープンカフェを設けて、走ってきた人が一休したり「スポーツキューブ」から出て食事をしたりします。ヨーロッパの街の雰囲気を再現します。



スポーツキューブ 外部図 (平面図)

「ランナーズパース」の平面図です。太陽光パネルで照明と融雪装置を動かして走る場所は常に安全に保ちます。